

政策評価の観点から見た 防災計画評価

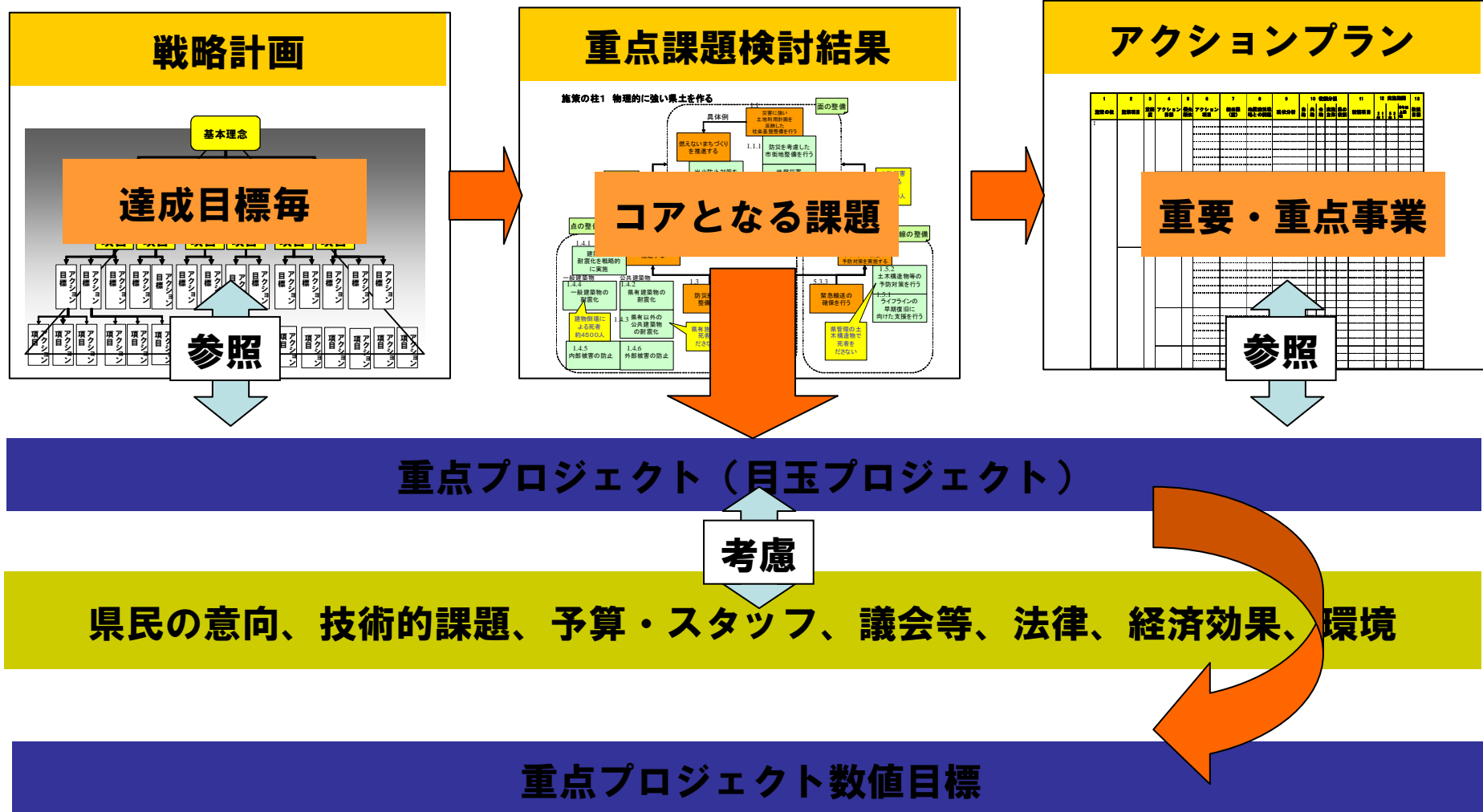
京都大学防災研究所

牧 紀男

参画型防災戦略計画策定

- マリキナ市地震防災アクションプログラム
- 奈良県地震防災アクションプログラム
- 京都府地震戦略

数値目標の設定のプロセス



政策評価とは何か？

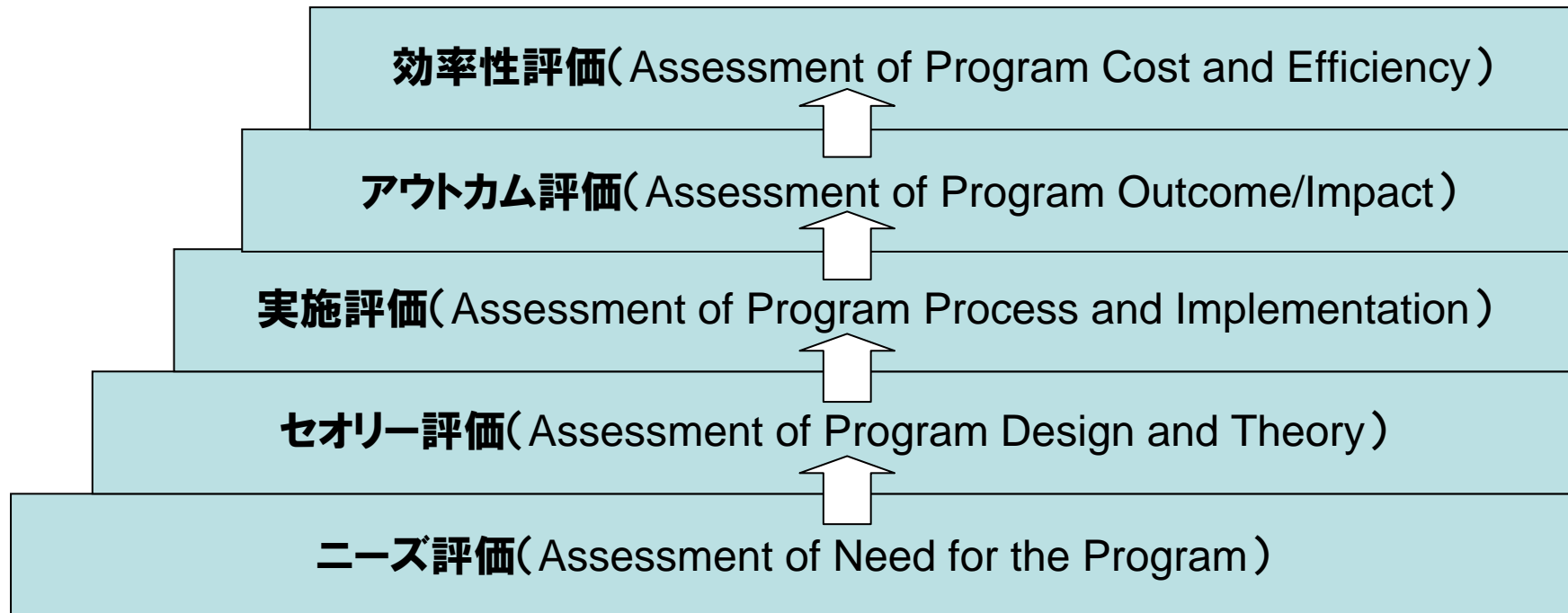
**「政策」に関する「目的、目標、介入理論、
実施過程、結果、成果、効率性を評価す
る体系的な社会調査活動」**

政策評価のための5つの手法

- ①ニーズ評価(Assessment of Need for the Program)
- ②セオリー評価(Assessment of Program Design and Theory)
- ③実施評価(Assessment of Program Process and Implementation)
- ④アウトカム評価(Assessment of Program Outcome/Impact)
- ⑤効率性評価(Assessment of Program Cost and Efficiency)

Rosszi, H. Peter et.al, Evaluation; A Systematic Approach Seventh Edition, SAGE Publications, 2003

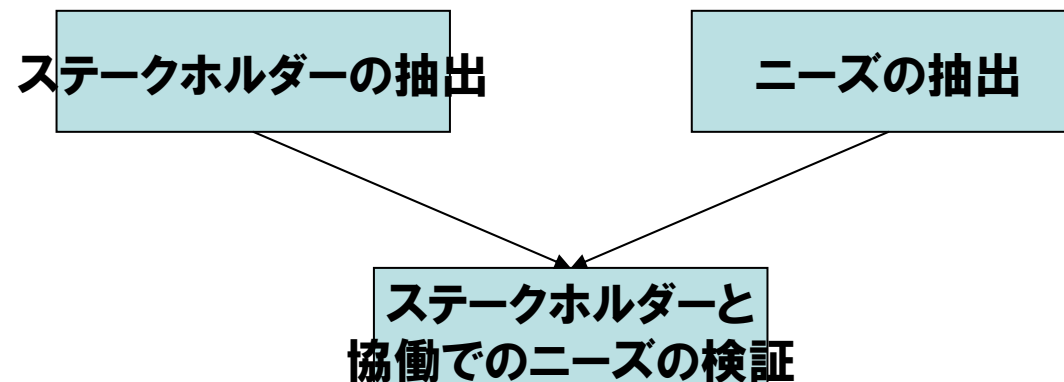
政策評価のヒエラルキ



Rosszi, H. Peter et.al, Evaluation; A Systematic Approach Seventh Edition,
SAGE Publications, 2003

①ニーズ評価(Assessment of Need for the Program)

- **正しく問題認識が行われているかどうかの評価であり、評価においては1)ステークホルダーを明らかにする、2)ニーズを明らかにする、3)明らかになったニーズをステークホルダーと共に検証する、という3つの項目が必要である。**



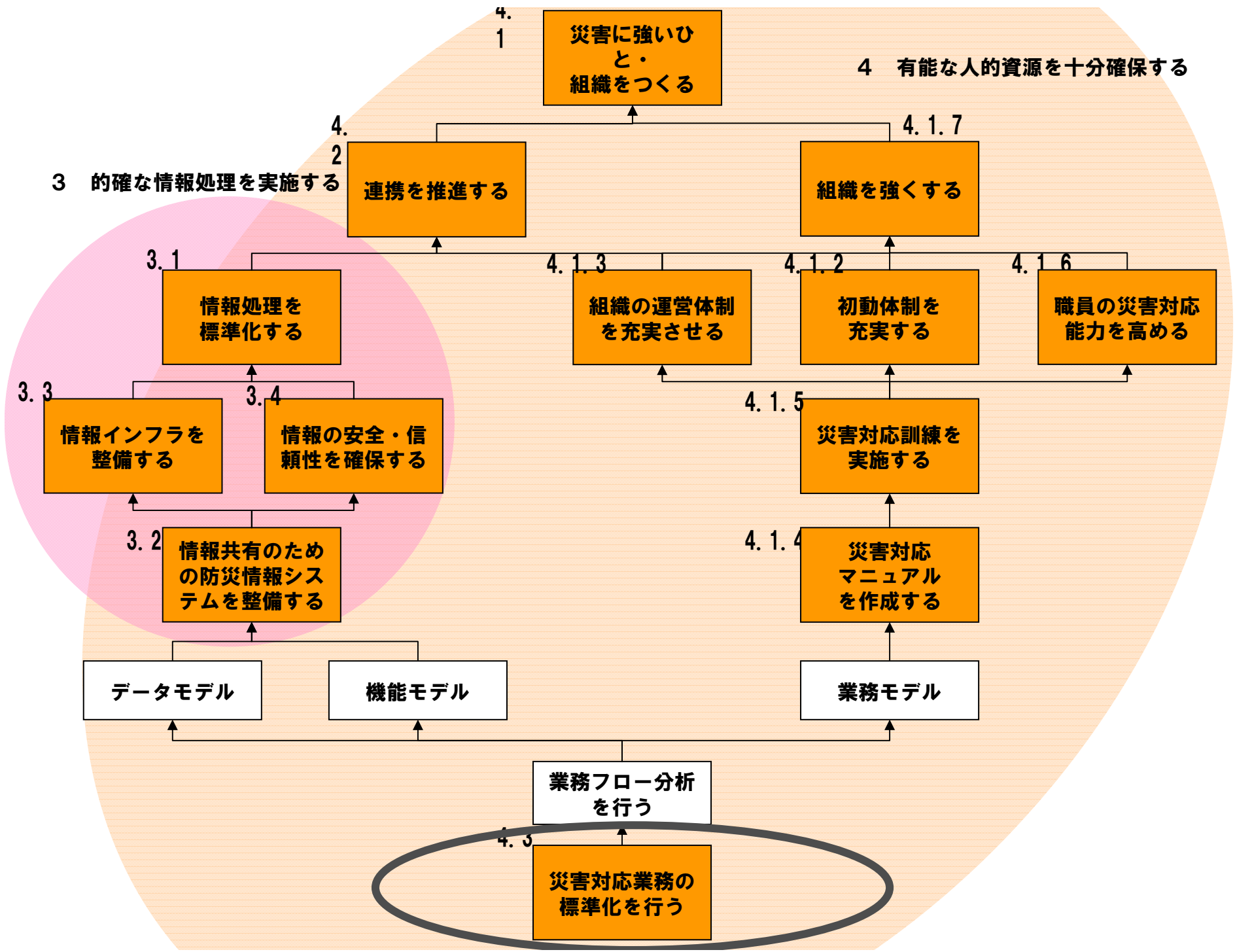
参画のためのツール ワークショップ

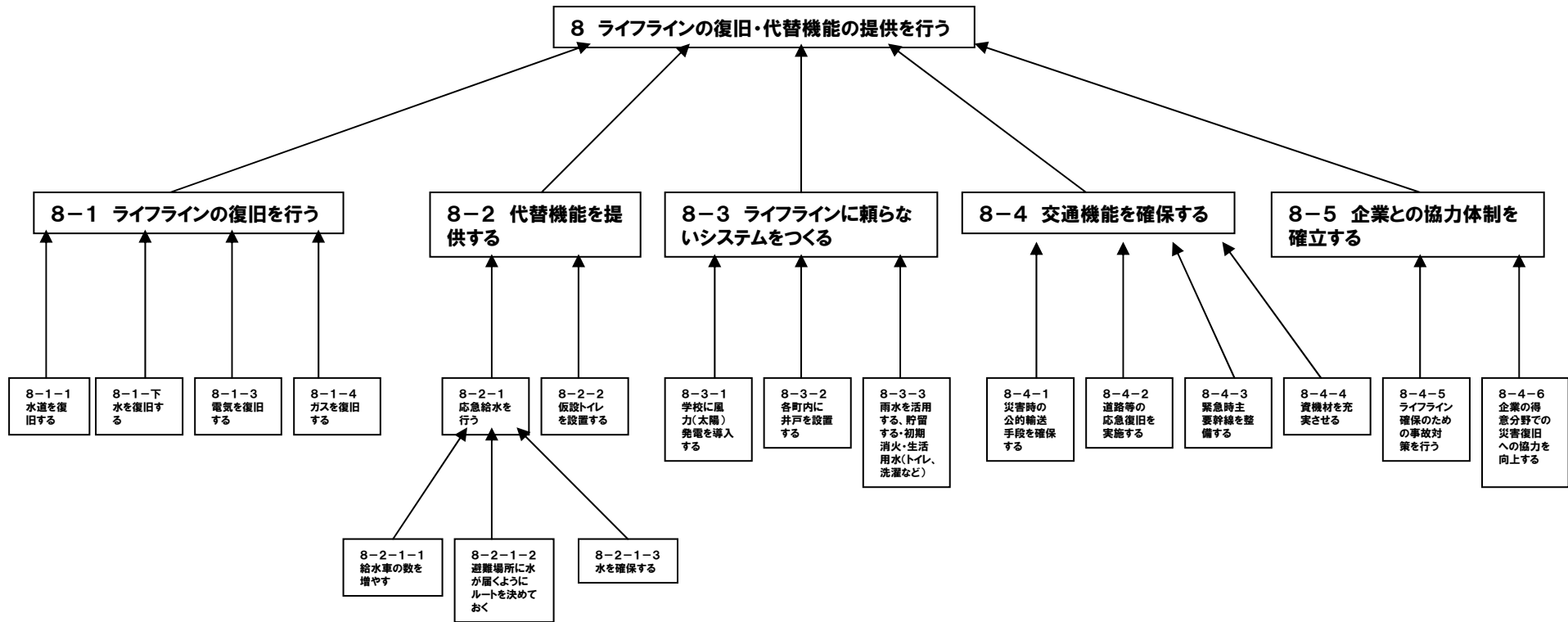


誰が実行計画する計画なのか？

②セオリー評価(Assessment of Program Design and Theory)

- **問題となる事象についての「原因と結果」が正しく認識されているかどうかについての評価であり、具体的にはすなわち問題の解決へと至る道筋が施策の連関図として正しく示されているかどうかについての検証が実施される。**

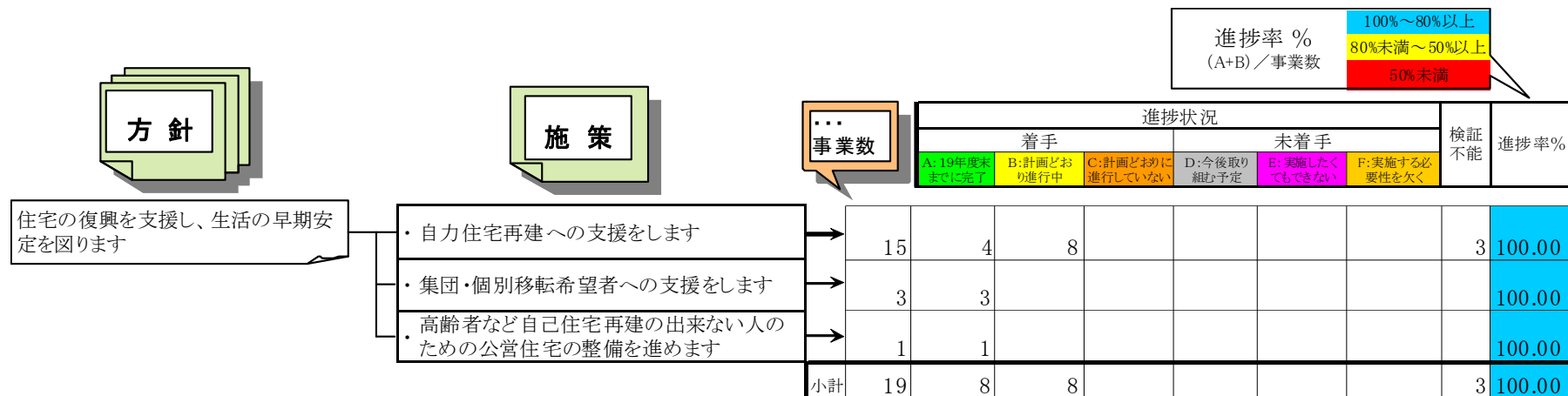




8. ライフラインの復旧・代替機能の提供を行う。

③実施評価(Assessment of Program Process and Implementation)

- 施策が計画通りに実施されているかどうかの評価であり、通常、アウトプット評価と呼ばれ、現在、行政で実施されている「事務事業評価」がこれにあたる。**



④アウトカム評価(Assessment of Program Outcome/Impact)

予防 対策	物理的抑止力の向上 民間の防災力向上	1. 物理的に強い県土を作る
災害対応 の資源	情報システム 人的資源	2. 民間の防災力を向上させる
		3. 的確な情報処理を実施する
応急対策	人命 安全・安心 生活基盤 県民生活 古都奈良	4. 有能な人的資源を十分確保する
		5. 県民に対して5つのサービスを行う
		5.1 命を守る
		5.2 安全・安心を守る
		5.3 生活基盤を安定させる
		5.4 県民の生活を支援する
5.5 古都奈良のイメージを守る		
復旧・復興		6. 復興を視野に入れる

計画の評価と見直し

復興目標が達成された

復興目標	○			
行政	○	○	×	×
市民	○	×	○	×

施策体系の見直し

復興目標が達成されなかった→施策の見直し、重点課題の抽出

復興目標	×			
行政	○	○	×	×
市民	○	×	○	×

撤退

施策体系の見直し

⑤ 効率性評価 (Assessment of Program Cost and Efficiency)

- 費用に対してどれだけの効果が出るのかについての評価であり、公共事業で実施されるコストベネフィット評価がこれに対応する。

復興計画

神戸市震災復興計画	The Unified New Orleans Plan Citywide Strategic Recovery and Rebuilding Plan
1.復興の基本的な考え方	1.はじめに (Introduction)
2.目標別復興計画	2.復興評価 (Recovery Assessment)
3.安全都市づくり	3.全市の復興戦略 (Citywide Recovery Framework)
4.市街地復興計画	4.戦略計画 (Summary of Recovery Projects)
5.シンボルプロジェクト	5.実施計画 (Implementation Plan)
6.実現へ向けて	6.予算計画 (Financial Plan)
付属資料	付属資料 (A. Citywide Recovery Projects Summary Sheets)
	付属資料 (B. List of District Projects)

4章はSummary of Recovery Projectsとなっているが、章の内容は各計画のStrategies., Policies・・・を示したものであり、戦略計画と訳した。

State of California

Multi-Hazard Mitigation Plan

- Chapter 1 Planning Process
- Chapter 2 Legal, Institutional, and Policy Framework
- Chapter 3 State Mitigation Strategy
- <アウトカム評価、実施評価>
- Chapter 4 Profile of State Assets
- <ニーズ評価>
- Chapter 5 Assessing Hazards
- <ニーズ評価評価>
- Chapter 6 Local Hazard Mitigation Planning
- <アウトカム評価>
- **Chapter 7 Funding Sources and Capability**
- <効率性評価>
- Chapter 8 Enhanced Plan Criteria Achievements Program

事前評価

中間評価

事後評価

(パイロットプロジェクトの実施)

ステークホルダーの視点

ニーズ評価→

セオリー評価→

効率性評価→

実施評価→

アウトカム評価→

効率性評価→

実施評価→

セオリー評価→

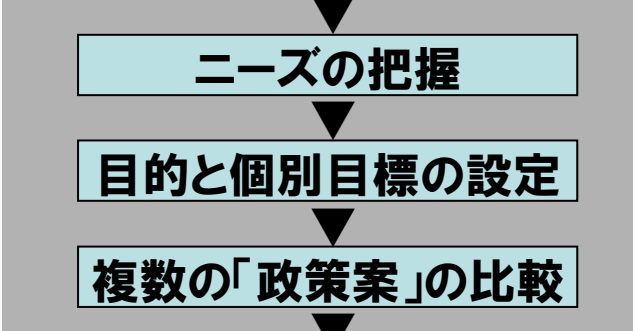
効率性評価→

アウトカム評価→

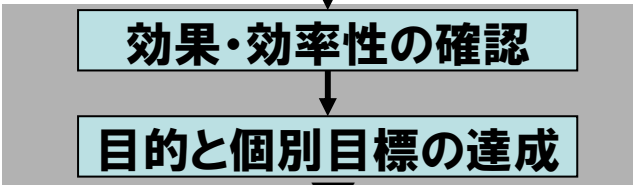
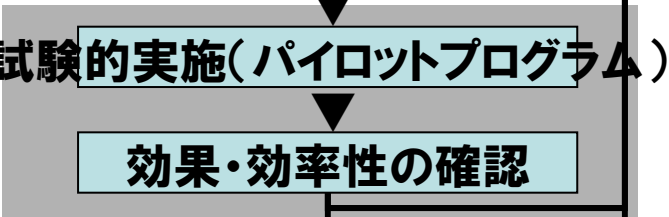
効率性評価→

プロジェクトの開始

ニーズの存在



「政策案」の選択



ニーズの充足

復興完了